

わたしから始まる高知の食育

～毎月19日は「食育の日」～



高知市では自治公民館や各種団体・女性グループ等が教養の向上や健康増進、社会福祉の推進のために公民館を利用して自主的な活動を行うグループを指定学習グループとして認定し支援しています。

今回は、指定学習グループ「春野つくしんぼクラブ」の活動を紹介します。

～春野町の伝承昔菓子～

新型コロナウイルス感染症が、少し落ち着いていた今年2月、感染予防対策をしっかりと行いながら、春野公民館西分館で春野つくしんぼクラブが『春野町伝承昔菓子“あたらしや&とら巻”を学ぶ』という講座を開催しました。

春野町では、昔、祝儀・法事等のおきやくの際に、必ず皿鉢に入っていたのが“あたらしや”と“とら巻”です。しかし、核家族が進み伝統料理を次世代に伝える機会が激減し、このままでは、春野の食文化が途絶えてしまうと、危機感を持った春野つくしんぼクラブの「あたらしや&とら巻の会」メンバーが、家庭で伝えられなくなった伝統料理を地域で伝えようと開催したものです。



～土佐の料理传承人「あたらしや&とら巻の会」～

この講座の翌月、「あたらしや&とら巻の会」は、高知県農産物マーケティング戦略課から、高知県の各地域で郷土料理について卓越した知識や技術等を有し、伝承活動に取り組んでいる方々に対して与えられる『土佐の料理传承人』として任命されています。

郷土料理の伝承を通じてつなぐ「絆」。

「あたらしや&とら巻の会」の皆さんからは、「これまでも、そしてこれからも世代と世代をつなぎ、地域の未来を紡いでいく、そんな活動をいろんな場面で紹介し、地域の活動の一環として役立てたい」と熱い思いを語っていただきました。

新型コロナウイルス感染症が早く収束し、みんなが安心して楽しい時間を過ごせる講座が再開できることを願っています。

